

かながわの風

32
August
2021

<http://www.kacsw.or.jp>



コロナ禍臨時特集 第3回

社会福祉士とわたしp.6

- 第29回 日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会(山形大会) 報告..... p.2・3
- 社会福祉士養成校における先輩社会福祉士の役割 p.4・5
- 2021(令和3)年度 理事会 報告 p.7
- 公開講座・研修情報 p.8





目下 公佑さん

自主企画シンポジウム「地域共生社会の理論的背景の検討及び実践化の課題」

全国大会の自主企画シンポジウム「地域共生社会の理論的背景の検討及び実践化の課題」にて、私は高齢分野の立場で話をしました。

まず前提として、厚生労働省の考える地域共生社会について「地域共生社会ポータルサイト」には次のように書かれています。

『かつては、地域の相互扶助や家族同士の助け合いなど、地域・家庭・職場といった人々の生活の様々な場面において、支え合いの機能が存在しました。社会保障制度は、これまで社会の様々な変化が生じる過中で、地域や家庭が果たしてきた役割の一部を代替する必要性が高まったことに対応して、高齢者、障害者、子どもなどの対象者ごとや、生活に必要な機能ごとに、公的支援制度の整備と公的支援の充実が図られてきました。しかし、現在では、高齢化や人口減少が進み、地域・家庭・職場という人々の生活領域における支え合いの基盤が弱まってきています。暮らしにおける人と人とのつながりが弱まる中、関係性を再構築することにより、人生における様々な困難に直面した場合でも、誰もが役割を持ち、お互いが配慮し存在を認め合い、そして時に支え合うことで、その人らしい生活を送ることができるような社会としていくことが求められています』

地域共生社会ポータルサイト<https://www.mhlw.go.jp/kyouseisyakaiportal/keii/>より。

では「地域の相互扶助や家族同士の助け合い」とは、具体的に誰の何を指すのでしょうか。

昭和43年に全国社会福祉協議会が実施した「居宅ねたきり老人実態調査」によると、老人の介護を担っていたのは、49.8%は嫁、25.1%は配偶者という状況でした。さらに、家事・育児・介護時間(図1)をみても昭和51年の時点では、週300分を超えています。平成28年には、週150分程度になっていますが、男性と比べて、圧倒的に女性の方が、家事・育児・介護に時間をかけています。そして、介護時間が「ほとんど終日」の同居の主な介護者の要介護者等との続柄別構成割合(図2)をみても、未だに女性の方が介護を担っています。

このデータから読み取るに、昭和から平成の時代にかけて、減少傾向にはありますが、家事・育児・介護は主に女性が担っています。そしてそれは、アンペイドワーク(家庭内での家事や育児、介護など、市場での評価が行われず、無償で行われる労働)になっていることが懸念されるのです。

つまりケアにおいて「家族同士の助け合い」は、主に女性が無報酬で担ってきたということです。

そして、女性が果たしてきた役割の一部を社会保障で代替すると考えるのであれば、ケアにおける責任の所在や福祉の専門性といった部分でも反論が生じます。

また「誰もが役割を持ち」といった文章にもアンペイドワークの懸念を感じさせてしまいます。

実際に通所型サービスBや訪問型サービスBについては、「住民主体」と明記されており、適正な賃金は出ないでしょう。

つまるところ私の懸念事項は、本来市場で評価されてしかるべき労働のほずが、「地域共生社会」という綺麗な言葉や理念の中に「無報酬労働」という問題が隠されてしまい、拡大してしまう恐れがあるからです。本来適用されるべき労働基準法や保障がそこにありません。やりがいの搾取や、アンペイドワークを拒否する住民の地域からの孤立も心配です。

そして、それは高齢者の利益を損なう恐れも出てきます。アンペイドワークに専門的な技術を求めるのは難しく、介護の質についても懸念されるからです。

地域共生社会の実現には、アンペイドワークの拡大ではなく、継続させるために労働としての対価を支払わなければなりません。これは地域のケア力を高めるためにも必要な考えであると思います。

・社会福祉士学会(山形大会)報告

最後に、私の発表や文章は、地域共生社会への批判としては的外れなのかもしれません。支えあいを尊重しあう事が大切なことには、私も同意します。しかし、その中でやりがい搾取や無報酬労働があるのであれば、権利擁護として声を上げる必要があると思っています。

図1 家事・育児・介護時間(週全体平均)

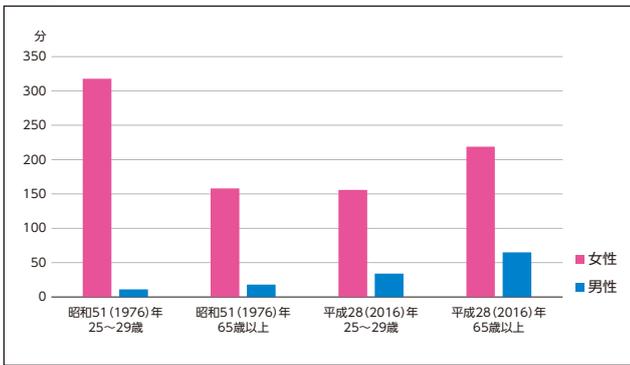
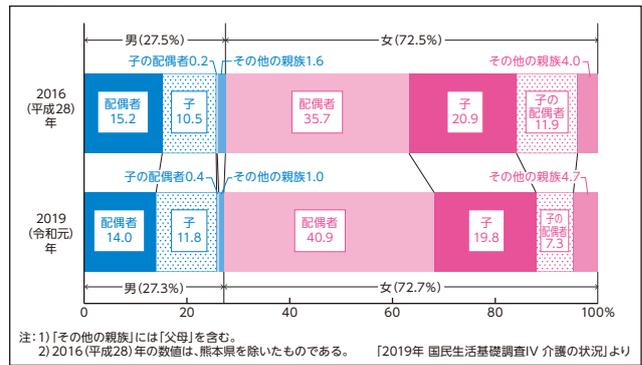


図2 同居の主な介護者



発表者プロフィール

日下 公佑さん

平成7年3月生まれ。日本社会事業大学卒業。社会福祉士。
新卒にて都内の地域包括支援センター社会福祉士として勤務。4年間勤務した後、神奈川県内の社会福祉法人にて就労支援の相談業務に携わっている。



川崎支部 藤田 杏さん

「ウェブでつながりましょう！」鈴木一成実行委員長の力強い言葉で、第29回日本社会福祉士会全国大会の幕が上がりました。

今回のテーマは「多様性を尊重する社会を目指して」ということで、「支え合いが支えられる仕組みづくりが重要」と基調講演を始めいくつかの発表で拝聴しましたが、「多様性」というホットでありつつも漠然としたワードに対し、社会福祉士として、日々どのようなアプローチをするべきか、ヒントをいただけたように思います。そして、私は「将来の社会福祉士像」を模索中であるため、先輩方の熱いご講演は非常に勉強になり、刺激にもなりました。

また、以前は、開催地の関係でなかなか大会に参加できずにいたため、今後も情勢に関わらず、ハイブリッド開催を検討いただけると、私のような働き始めたばかりの20代は、より参加しやすくなるのではないかと思います。

最後に、対面の機会が減り、世の中が不透明になったことで、不安を感じることもありましたが、画面越しに全国で活躍されている皆様を拝見し、「つながり」を再確認することができました。支援者である前に、自分自身も「たくさんの存在に支えられている一人」であることを忘れない実践者であり続けたいです。



社会福祉士養成校における先

新型コロナウイルス感染症発生に伴う社会福祉士現場実習の現状

新型コロナウイルス感染症が続く中、社会福祉士が活動する現場では、その予防対策に必死な状況が続いている。本来、社会福祉士を目指す学生は、養成校での座学等に加え、その現場での実習が24日・180時間以上が必要とされるにもかかわらず、受け入れ側にその対応が困難であるため、実習に行けない学生もいる。

令和2年6月1日の文部科学省及び厚生労働省の事務連絡「新型コロナウイルス感染症の発生に伴う医療関係職種等の各学校、養成所及び養成施設等の対応について」によると、「実習施設等の代替が困難である場合、実状を踏まえ実習に代えて演習又は学内実習等を実施することにより、必要な知識及び技能を修得することとして差し支えない」としている。

田園調布学園大学における講義報告

昨年度、田園調布学園大学の教授から組織率向上委員会に「その学内実習を行う上で、現場で活躍する現役の先輩社会福祉士から実習に相当する講義をして欲しい」という依頼を頂いた。

委員会では、その教授を交えて3ヶ月間の事前準備期間を設け、現場実習に行けない学生が実習に行ったような有意義な学びができるよう議論を続けた。その結果、オンライン講義により、①社会福祉士が活躍する障害福祉、児童福祉、医療領域から3名の先輩社会福祉士がその仕事内容、役割、専門性、やりがいと課題等について話をした上で、②ブレイクアウトルームを活用した領域毎の質疑応答、③神奈川県社会福祉士会の活動紹介を行った。

先輩社会福祉士の話では、実習に来ていることを実感しやすいようその現場の写真を多々利用し、利用者のニーズとその支援を具体的に紹介した。ブレイクアウトルームでは、質疑応答や感想を聞きつつ、現場実習なく実務につくことへの不安が少しでも軽減できるようアドバイスした。最後の活動紹介では、新人が悩みやすい「大学で学んだ理論と現場の実践の共通点と違い」「先輩社会福祉士が職場に少ない？いない？現状」「時間的余裕がなく、十分な相談ができない現状」を伝えつつ、神奈川県社会福祉士会ではその支援体制があり、入会する意義を紹介した。

講義を終えた後、教授を交えて総括をしたところ、受講した学生は成人したばかりで、講義をした先輩社会福祉士はその親の世代であることから、ジェネレーションギャップを感じながらも、いざ現場に新卒新人を迎えることを意識し、常にその世代の特徴を把握しておく必要性を確認した。また現場のやりがい、課題、その対策を



たまひよ@田園調布学園大学(記念撮影) ▲



たまひよ@田園調布学園大学(相談会) ▲

輩社会福祉士の役割

組織率向上委員会 委員長 木村 有孝



いかに分かりやすく伝えるかは、地域住民に社会福祉制度等を理解してもらうためにも求められることであり、現場の社会福祉士が講義を経験することで、学ぶことも多いと感じた。

神奈川県社会福祉士会の加入意義

2020年度末、社会福祉士国家試験に合格し登録している人は、25万7千人いる。そのうち日本社会福祉士会に登録している人は17%であり、神奈川県社会福祉士会においては16.4%である。特に20代の加入率が低い。20代の方には是非加入して欲しいと思う。

- ① 基礎研修Ⅰ～Ⅲでは、様々な世代と領域の社会福祉士が集い、座学で理論を確認後、グループワークでそれぞれの領域や職場の課題について意見交換ができることから、20代の方には、同世代・同等の経験年数の仲間に加え、先輩世代との交流ができる。
- ② 新規会員歓迎・交流会では、直近で社会福祉士に合格した者が集い、その喜びと不安を共有しながら仲間を増やす絶好の機会となる。また各支部長等に会い、地域レベルでの頼れる先輩社会福祉士と連絡する機会ともなる。
- ③ たまひよクラブでは、社会福祉士3年未満の仲間が集い、先輩社会福祉士の話を聞く他、仲間同士で気軽に話し合える場も用意している。たまひよユースでは、20代と30代のみが集まり、夢や目標の達成に向けた仲間づくりができる。

養成校との連携

感染症が流行する前、2018年と2019年には田園調布学園大学で、2019年には関東学院大学で、たまひよクラブを開催し、先輩社会福祉士が経験談を語った後、実習・進路分野毎の相談会を開催している。「現役の社会福祉士から生の声を聞いて参考になった」と大変評判がいい。

2020年度は、養成校も神奈川県社会福祉士会もそれぞれの現場で精一杯であったが、今後は、それぞれの連携を深めていきたい。

養成校の関係者の皆様には、是非、現場実習に代わる講義への講師派遣やたまひよクラブの開催依頼をお願いしたいと思う。

社会福祉士は、養成校で基本を学び、職場で実践に励みつつ、職能団体が専門性を向上し続ける場を設けることで、社会福祉サービスを必要とする方々に貢献することが必要だと思う。



たまひよ@関東学院大学 ▲



新規会員歓迎・交流会 ▲

コロナ禍臨時特集 第3回

社会福祉士とわたし



△▽△▽△▽△▽△▽△▽△ 西湘支部 井口健一郎さん

人種の坩堝と言われるカナダで育ち、創価大学大学院で教育社会学を学び、東京都小学校教員を経て、高齢者福祉分野に入りました。きっかけは祖母の認知症の発症でした。児童分野から高齢者福祉分野への転換は大きな挑戦でしたが、この道に進んでよかったと確信しています。高齢者福祉分野では、初めは短期入所生活介護で介護職として働き、その後、特養に異動になりました。

社会福祉士は特養在勤中に取得しました。社会福祉士を目指したきっかけは、社会の構造の理解とソーシャルワークに非常に興味があったからです。その後、介護課長、生活相談員、介護支援専門員などを経験し、介護職員初任者研修、介護福祉士実務者研修の養成施設長及び550名の社会福祉法人の教育部長、人事部長に当たる人財開発部長を経て、現在、法人理事、特別養護老人ホーム潤生園施設長を担っています。

ソーシャルワーカーは如何なる困難な状況下にあっても、目の前の利用者の願いを叶えるために、全力で格闘する専門家だと思っています。私も本業とともに、コミュニティFMで介護の情報発信をするラジオ番組を創設したり、車イスユーザーの支援をしたり、地域共生社会に向けた取り組み、厚生労働省関連の技能実習生及び外国人介護職員育成のためのガイドライン作成の委員など取り組んでまいりました。ソーシャルワーカーとして制度(仕組み)がないものを作っていき活動をしています。

現在、本業とともに、和泉短期大学、桜美林大学、おだわら看護専門学校、平塚看護大学の非常勤講師や全国で介護福祉教育、外国人職員育成などの研修会講師も担っています。

神奈川県社会福祉士会では、2020年度、新たに発足した多文化ソーシャルワーク委員会の委員となり、2021年度5月、「日本から、地域から発信する多文化ソーシャルワーク」と題して講演させて頂きました。

現職

社会福祉法人小田原福社会理事、特別養護老人ホーム潤生園 施設長

2016年

神奈川県認知症ケア専門士会理事 (現在に至る)
台湾各地で現地法人、大学等で講演、演習を行う (現在に至る)

2018年

FMおだわらパーソナリティ (現在に至る)

社会活動

2019年

日本介護福祉士会、介護職種の技能実習指導員講習テキスト編纂委員 (現在に至る)
厚生労働省社会福祉推進事業「介護職種における技能実習指導員から技能実習生への適切な技能移転の在り方に関する調査研究」検討委員会 委員 (現在に至る)
シルバーサービス振興会 介護職種における技能実習試験 試験評価者 (現在に至る)
かながわ福祉サービス振興会「介護・生活支援ロボット活用研究会」 委員 (現在に至る)
日本介護福祉士会 外国人介護職員指導者養成及びガイドライン等策定委員 (現在に至る)

2020年

神奈川県社会福祉士会 多文化ソーシャルワーク委員会 委員 (現在に至る)
神奈川県立平塚看護大学学校評価に係る外部評価委員会 委員 (現在に至る)
中国上海市の現地法人福寿康でコンサルテーションを行っている

〈2021 (令和3) 年度 理事会 報告〉

※理事会は偶数月通常・奇数月臨時：
感染対策で会議形式はすべてオンライン会議

*2020年度 ■臨時理事会 2021年3月24日(水) 19:30~20:30

議長: 隅河内会長 議事録署名: 出席全理事・監事 出席理事: 13名 欠席: 2名 監事: 吉田・東海林 事務局: 2名

審議事項〈議事全承認〉 議案1: ばあとなあ神奈川名簿登録審査…名簿登録審査→対象639名(新規56名、更新581名、再登録2名 登録保険料未納者なし。更新者のうち現受任者435名。

*2021年度~ ■通常理事会 2021年4月13日(火) 19:30~21:00

議長: 隅河内会長 議事録署名: 出席全理事・監事 出席理事: 11名 欠席: 4名 監事: 吉田・東海林 事務局: 2名

審議事項〈議事全承認〉 議案1: 入退会審査(3月分)…3月入会0、退会133、転入3、転出6、3月末会員数2,997名、県内登録者数17,343名、組織率17.28%。 議案2: ばあとなあ神奈川名簿登録審査・後見人等候補者推薦、法人後見状況…名簿登録に係る異動状況は3月1日登録者数598名、家裁名簿登載者数は519名、4月1日登録者数639名、家裁名簿搭載者数は565名。3月後見人等候補者推薦の状況は、推薦依頼37件、推薦済21件、調整中16件、不受理・取下げ0。法人後見は前回同様9件。 議案3: 2021・2022年度支部役員の委嘱…横浜、川崎、横須賀三浦、相模原、西湘支部の委嘱承認。 議案4: 2021・2022年度事業部委員会の委員委嘱…多文化SW、地域包括ケア、自殺対策、実習指導者養成、子ども家庭、災害対策、広報、生活困窮者NW各委員の委嘱承認。 議案5: 2021年度生活困窮者就労準備支援事業及び居住の安定確保支援事業業務委託契約の締結(かがやき)…契約内容と金額承認。 議案6: 2021年度神奈川県介護支援専門員実務研修受講試験受験審査書類審査業務の委託契約の締結…例年県社協から依頼されているものであり契約内容と金額承認。

■臨時理事会 2021年5月9日(日) 13:00~14:15 ※終了後 第1回委員会役員連絡会 14:30~16:00

議長: 隅河内会長 議事録署名: 出席全理事・監事 出席理事: 14名 欠席: 1名 監事: 吉田・東海林 事務局: 2名

審議事項〈議事全承認〉 議案1: 入退会審査(4月分)…入会36、退会0、転入2、転出0。4月末会員数・県内登録者数・組織率は、次月報告。 議案2: ばあとなあ神奈川名簿登録審査・後見人等候補者推薦、法人後見状況…名簿登録異動状況4月1日登録者数539名、家裁名簿登載者数565名、5月1日登録者数640名、家裁名簿搭載者数566名。新規登録者1名の氏名確認。4月後見人等候補者推薦の状況は推薦依頼25件、推薦済15件、調整中10件、不受理・取下げ0。法人後見前回同様9件。 議案3: 2021・2022年度支部役員の委嘱…湘南西支部役員委嘱承認。 議案4: 2021・2022年度事業部委員会の委員委嘱…組織率向上、資格取得支援、第三者評価事業部の各委員の委嘱承認。 議案5: 2021年度神奈川地域生活定着支援センター事業委託契約の締結…昨年度に継続して神奈川県から受託。 議案6: 2021年度神奈川県生活困窮者自立支援制度都道府県研修事業委託契約…昨年度に継続して神奈川県から受託。

■通常理事会 2021年6月8日(火) 19:30~21:30

議長: 隅河内会長 議事録署名: 出席全理事・監事 出席理事: 14名 欠席: 1名 監事: 吉田・東海林 事務局: 2名

審議事項〈議事全承認〉 議案1: 入退会審査(5月分)…5月入会34、退会2、転入3、転出5、5月末会員数3,056、県内登録者数18,948、組織率16.13%(4月末県内登録者数は17,818、組織率は16.98%) 議案2: ばあとなあ神奈川・名簿登録審査・後見人等候補者推薦、法人後見状況…名簿登録異動状況、6月1日登録者数641名、家裁名簿登載者数は580名。新規登録者2名氏名を確認。後見人等候補者推薦の状況5推薦依頼2件推薦済み14件、調整中18件、不受理0・取下げ0。法人後見10件。 名簿登載審査…名簿登載審査対象581名2021年度名簿登載各定数520名。 議案3: 2020年度(公社)神奈川県社会福祉士会事業報告(案) 議案4: 2020年度(公社)神奈川県社会福祉士会決算報告(案) 議案5: 役員賠償責任保険2021年度の契約(更新) 議案6: 代議員総会議事 議案7: 2021・2022年度支部役員の委嘱…湘南東支部幹事承認。 議案8: 2021・2022年度事業部委員会の委員委嘱…司法福祉NW、組織率向上委員会追加事項承認。 議案9: 2021年度相模原市ホームレス等一時生活支援事業委託契約(はばたき)…金額と契約内容承認 議案10: 2021・2022年度倫理委員会委員の改選案…内部委員となる会員の委員候補1名を追加、候補案を検討。 議案11: 規則改正案…規則13号職員給与規則 29号相談事業部組織及び運営規則 38号倫理委員会規則 細則3号 職員の休憩の交代制に関する細則 細則 10号 発信公文書取扱い細則 細則 11号 受信公文書取扱い細則 以上改正案

■代議員総会報告 2021年6月27日(日) 13:30~15:00

出席理事: 14名 監事: 2名 事務局: 7名 議長: 第1地区 佐々木千賀子、第3地区 及川正文 議事録署名人: 隅河内会長 議決権のある総代議員数: 55名 この議決権の総数: 55個 出席代議員数: 47名(出席17名+委任状30名) 欠席: 8名

審議事項〈議事全承認〉 議案1: 2020年度公益社団法人神奈川県社会福祉士会事業報告(案) 議案2: 2020年度(公社)神奈川県社会福祉士会決算報告(案) 議案3: 2021・2022年度(公社)神奈川県社会福祉士会役員(案) 議案4: 本会会員への懲戒に対応する手続きに関する規則(案) 議案5: 倫理委員会規則(案) 議案6: 2021・2022年度(公社)神奈川県社会福祉士会倫理委員会委員の改選案 議案7: 役員賠償責任保険の契約更新の取扱…報告事項1: 2021年度(公社)神奈川県社会福祉士会事業計画 報告事項2: 2021年度(公社)神奈川県社会福祉士会予算 以上議案については全承認。議案集はHPに掲載。

公開講座 & 研修会

お申込み・
お問合せは

電話：045-317-2045

FAX：045-317-2046 e-mail：web@kacsw.or.jp
公益社団法人神奈川県社会福祉士会 事務局 までお願いします。

月	日	開始時間	終了時間	研修名	概要	場所	主催	対象	費用
8	22	17:30	19:00	新規会員歓迎・交流会	会員の皆さんが交流できるイベントの紹介、支部・分野毎の交流	ZOOMによるオンライン開催	組織向上委員会	100名 (2020年度、2021年度新規会員)	無料
8	28	14:00	15:30	たまひよオアシス in相模原	これから社会福祉士を目指す人、社会で働いて間もない人、地域でバリバリ働いている人、想いをお話してください。	ZOOMによるオンライン開催	相模原支部	会員及び関心のある方	無料
8	28	17:00	18:30	川崎支部 情報交換会 (サロン)	社会福祉士仲間で情報交換する場です。ワールドカフェ方式を導入します。18時半以降は懇親会(飲み会)も開催します。	ZOOMによるオンライン開催	川崎支部	30名 (神奈川県社会福祉士の会員)	無料
9	17	19:30	21:00	相談援助のコミュニケーションと「やさしい日本語」～伝えあいつながりあうハートとツール～	講師：村上まさみ氏(早稲田大学非常勤講師、多文化高齢社会ネットワークかながわ委員) 内容：講演とグループワーク	ZOOMによるオンライン開催	多文化ソーシャルワーク委員会	80名 (会員、興味関心ある県民)	無料
9	18	13:30	15:45 (予定)	支部定例会	依存症の支援(第2回)	オンライン開催	湘南東	支部会員	無料
10	23	17:00	19:00	多文化理解の視点と社会福祉士への期待	講師：中村ノーマン氏(多文化活動連絡協議会代表) 内容：講演とグループワーク	ZOOMによるオンライン開催	川崎支部	80名 (会員、外国人支援活動を応援してくれる県民)	無料
10	30	10:00	17:30	多文化ソーシャルワーク研修会	2日間にわたる研修で、9人の講師から外国人支援に必要なソーシャルワークの実践力を習得します。	ZOOMによるオンライン開催	多文化ソーシャルワーク委員会	60名 (社会福祉士、外国人支援者、興味関心のある方)	11,000円
	31	9:30	16:20						

開催を予定しております研修・公開講座等は、新型コロナウイルスの感染状況により、やむなく開催を中止、あるいは延期する場合がございます。ご迷惑をおかけ致しますが、何卒ご理解頂きますようよろしくお願い申し上げます。なお、中止、延期の状況につきましては本会のホームページをご確認ください。

<http://www.kacsw.or.jp/publics/index/234/>

神奈川県社会福祉士会 研修 講座 🔍 検索

BEST SHOT をお持ちしています!



表紙写真大募集!!

あなたの写真で「かながわの風」の表紙を飾りませんか?

広報委員会では「かながわの風」の表紙を飾る写真を募集しています。

テーマ 神奈川の風景

カメラ デジタルカメラで、一眼レフやコンパクトカメラ、スマートフォンなど機種は問いません。

画素数 3024×4032ピクセル以上

送信先 koho@kacsw.or.jp

《ご注意》

- 写真のファイルサイズが大きい場合は、クラウドストレージなどをご利用ください。送信方法がご不明な場合は、左記メールアドレスまでご相談ください。
- 人物を被写体にしなさい。人物が個人を特定できるサイズで写っている場合は、同意を得た場合でも採用しない場合があります。
- 採用する場合は、掲載号発行前にメールにてご連絡を差し上げます。不採用の場合はご連絡を差し上げませんので、ご容赦ください。

編集委員も同時募集中!



本会会員の皆様の中で、広報制作に興味・関心がお有りの方は、事務局までお知らせください。是非、新しい「風」づくりに参加をお願い致します。なお、広報委員会は原則として奇数月の最終週の火曜日、19:00～21:00に開催しております。

(広報委員長：日向 明)

編集後記

「プロ」の心意気

もう何年も前のことになる。「街中華」という言葉がそれほどメジャーでは無い頃、「冷やし中華はじまりました」という暖簾に誘われて、数人が並んでいる店に入った。私が冷やし中華を食べ始めると、隣りにいたスーツ客の前にラーメンが置かれた。その直後、その客の携帯(当時はスマホではなかった)が鳴り、そそくさと電話を取り店外へと向かった。身なりからして、営業や商談であろうか。5分程して戻り、カウンターに置かれたラーメンに手をかけた瞬間に若い店主がラーメンを差し替えて一言、「お客さんにのびている冷めたラーメン、食べさせられませんから」。なん

と「粋」な対応なのだろうと清々しい気分していると、店主の黒いTシャツの背に白い筆文字で「一杯入魂」の文字が見えた。今思えばどこにでも売っているTシャツであるが、当時は「なるほど」と感心したものである。「どうりでこの店は繁盛する訳だ」と。一杯にかけける情熱を一人ひとりの客に捧げるその思いは「プロ」としての誇りであろう。今、自身の仕事に重ね合わせて考えると恥ずかしくてたまらない…。かの店主の心意気に学びたいものである。場所も忘れてしまったが、今もきっと「一杯入魂」の精神が続けていることであろう…。

(広報委員長：日向 明)